緊急注意喚起情報

6月10日～20日は
雪若丸等初期生育量確保強化期間です

米づくり技術情報　No.9

令和７年６月10日

茎数少ない！浅水管理を徹底して分げつ促進！
今後は高温が続く予報！早目のワキ対策を!

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

◎今後の気象

６月10日発表の２週間予報では、気温の高い予報となっており、今後、異常還元（ワキ）の発生が懸念されます。

日付	11 水	12 木	13 金	14 土	15 日	16 月	17 火	18 水 (16～20日)	19 木 (17～21日)	20 金 (18～22日)	21 土 (19～23日)	22 日 (20～24日)
山形（最高気温）	28	26	28	27	27	30	30	30	30	29	29	28
山形（最低気温）	21	16	14	16	18	20	21	20	19	19	19	19

（5日間平均）

かなり高い
高い
平年並
低い
かなり低い

気象庁HPより引用

◎生育概況

６月10日現在の生育は、平坦部「はえぬき」で、草丈は短く、茎数は平年より少なく、葉数、葉色は平年並みとなっています。特に、移植が遅かった圃場や深水管理が続いた圃場では、茎数がほとんど増えていません。

平坦部「はえぬき」の生育（６月10日）

項目	調査値	平年値	平年比・差	
草丈（cm）	25.2	27.0	93	短い
茎数（本/㎡）	**177**	**220**	**81**	**少ない**
葉数（枚）	6.0	6.2	-0.2	平年並み
葉色	33.3	33.6	-0.3	平年並み

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

◎当面の技術対策

今から６月20日頃までの10日間は、穂数を確保するための重要な時期です。今すぐ、生育状況を確認し、きめ細かな水管理を行って適正な茎数を確保しましょう。

（１）水管理　～浅水管理で茎数確保！　土壌のワキは早目に対処！～

☑ 日中止水、夜間かんがいを徹底し、水深2～3cmの浅水管理で分げつを促進！

☑ 田んぼに足を踏み入れて、気泡が多く発生する場合は、田干しもしくは水交換！
（藻や表層剥離が多発した場合も実施！）

（２）病害虫防除　～斑点米カメムシ類やや多い、早急に畦畔の草刈りを！～

６月2～４日の県病害虫防除所の調査によると、斑点米カメムシ類の発生量は多い状況です。生息密度を下げるため早急に畦畔等の除草を行いましょう。

また、水田に放置された取り置き苗は、葉いもちの伝染源となるので、直ちに処分しましょう。葉いもち防除の箱施用剤を使用していない場合は、６月20日までに遅れず本田施用剤（粒剤等）を散布します。

（３）除草対策　～残草がある場合は遅れずに対応！

残草が見られる場合は、残草の種類や葉齢に応じた剤を選択し、登録内容を確認した上で遅れずに処理します。水田内に残草したイヌホタルイやノビエは斑点米カメムシ類の産卵場所にもなるので、除草対策を徹底しましょう。

（４）作溝・中干し　～有効茎が確保された圃場から始めましょう～

有効茎数（「はえぬき」：内陸 480本/㎡、庄内 540本/㎡）を確保したら、速やかに作溝・中干しを行います。中干しは、無効分げつの抑制、根の健全化、受光態勢を良くする重要な技術です。さらに、作溝を行うことで、効率よく圃場全体に水を行き渡らせられ、今後の水管理がしやすくなります。

つや姫の生育と技術対策

６月10日現在の「つや姫」の生育は、平年に比べて草丈がやや短く、茎数が少なく、葉数、葉色は平年並みとなっています。水深２～３cmの浅水管理と日中止水・夜間かんがいを徹底して分げつを促進しましょう。有効茎数（内陸 410本/㎡、庄内 440本/㎡）を確保したら、速やかに作溝・中干しを行います。適期に適量の穂肥ができる生育量にコントロールすることが重要です。

「つや姫」の生育（６月10日）

項目	調査値	平年値	平年比・差	
草丈	27.5 cm	29.0 cm	95	やや短い
茎数	213 本/㎡	226 本/㎡	94	少ない
葉数	6.1 枚	6.2 枚	-0.1	平年並み
葉色（SPAD）	33.5	33.9	-0.4	平年並み

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

６月20日 指標値（栽培マニュアル）

地域	草丈	茎数	葉数	葉色(SPAD)
内陸	38cm	420本/㎡	8.2枚	39
庄内	35cm	460本/㎡	8.3枚	39

農作業事故と熱中症に十分注意してください！

休憩をまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！